

北九州市不登校対策・支援について

【具体的な取組】

(1)長期欠席や不登校児童生徒への支援

①未然防止の取組

- ・安全・安心で一人一人の居場所がある居心地のよい学校づくり
- ・「小中連携S U T E K I アンケート北九州版」「北九州子どもつながりプログラム」、「コグトレ」を効果的に活用したよりよい集団づくり
- ・早期発見のためのチェックリスト
- ・児童生徒が「学ぶ楽しさ」や「分かる喜び」を感じる魅力ある授業づくり
- ・ふれあい合宿・ふれあい活動を中学校で実施
- ・スクールカウンセラーによる小学校5年生全員面接とオンラインカウンセリング

②初期対応の取組

- ・「欠席連絡アプローチカード」を活用した取組
- ・校内適応指導教室「ステップアップルーム」での個に応じた支援の充実
- ・ICTを活用した「学習の定着」や「心のケア」
- ・担当指導主事の学校訪問による不登校児童生徒の状況把握と指導

③社会的自立に向けた取組

- ・不登校等支援センターが統括する教育支援室における教育的な支援の充実による安心できる居場所や学びの場の提供
- ・GIGA 端末を活用した「未来へのとびらオンライン教育支援室」による多様な学びの保障
- ・不登校児童生徒療育キャンプ（現：ワラビー体験ツアー）

(2)教職員への研修・他機関との連携等

①不登校対応のための資料作成と配布等

②校内研修

- ・不登校対策リーダー養成研修会の実施
- ・教職員研修アニメ動画を活用した校内研修の実施
- ・学校支援講師（校内適応指導教室対応）研修会の実施

③生徒指導主事・主任会議

④北九州市長期欠席対策検討会議の運営

⑤不登校児童生徒の教育機会の確保に係る検討会議

⑥その他関係機関との連携

- ・中学校卒業後の切れ目のない支援を行うための子ども家庭局青少年課「不登校状態の子どもに寄り添った次への一歩応援事業」（アウトリーチ）や子ども・若者応援センター「YELL」との連携
- ・新たな学びの場の提供として、フリースクール等民間団体等や放課後等デイサービスとの連携
- ・保護者支援として、子ども家庭局子ども総合センター「不登校への理解を深める講座」「不登校の悩みを語り合う保護者の集い」への参加や不登校児童生徒の保護者を対象とした北九州市内の「親の会」との連携による情報提供